

気仙沼市一般廃棄物最終処分場の開所式を開催します

- 『気仙沼市一般廃棄物最終処分場』の運用開始にあたり、開所式を開催します。
- 埋立施設は、屋根を設けたクローズド型（被覆型）を採用し、臭いや騒音、粉じん等を外部に出さないよう周辺環境に配慮した施設です。
- 埋立施設には、地下への漏水防止のため二重の遮水シートと自己修復マットを設置しています。
また、遮水シートに設置した漏水検知システムにより、常時遮水シートの健全性が確認できるなど、最新鋭の施設となっています。
- 現在使用している、大曲一般廃棄物最終処分場の埋め立て終了が近いこと、また、新しい一般廃棄物最終処分場の設備等を稼働させ、本年度内に正常に作動することを確認する必要があることから、2つの施設を併用して運用します。
- 開所式および施設の概要については下記のとおりです。

【開所式の概要】

- 1 日 時 令和6年6月5日（水）午前10時00分から午前10時40分まで
- 2 場 所 気仙沼市一般廃棄物最終処分場 場内（気仙沼市九条1番地）
- 3 内 容 (1) 市長挨拶 (2) 来賓祝辞 (3) 来賓紹介 (4) テープカット
(5) 焼却灰の搬入

【施設の概要】

- 1 施設の種類：一般廃棄物最終処分場
- 2 工 期：令和2年9月～令和5年3月
- 3 事業費：約40億6千万円

被覆施設	浸出水処理施設
埋立面積：9,100 m ²	処理能力：23 m ³ /日
埋立容量：80,000 m ³	水処理方式：流量調整＋アルカリ凝集沈殿 ＋砂ろ過
処分場形式：クローズド型（被覆型）	
埋立方式：サンドイッチ方式	汚泥処理方式：汚泥貯留＋脱水処理

- 4 埋立期間：約15年間
- 5 施設にて処理する廃棄物の種類：焼却灰、破碎不燃物、無機性汚泥

【その他】

大曲一般廃棄物最終処分場については、令和7年度の埋立終了を見込んでおり、その後最終覆土工事を実施し、2年間のモニタリングを行い、廃止となります。